楠原竜也 Tatsuya KUSUHARA

玉川大学文学部芸術学科卒業。在学中にロンドン・ラバンセンターに留学。東京学芸大学大学院教育学研究科総合教育開発専攻修士課程修了。『多くの方にHAPPYを届ける』をテーマに作品を創作。国内だけでなく、ニューヨークを始め海外でも公演を行なう。テレーサ・ルドヴィコ（イタリア）演出『にんぎょひめ』『旅とあいつとお姫さま』等に出演し、俳優としても活動する。また、幼稚園・保育園・小中高等学校、児童養護施設等へのアウトリーチや、親子、幼児から一般の方への公募ワークショップも積極的に取り組み、表現活動と教育活動を同時に実現することを目指している。玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科准教授。

連絡先(担当)　楠原竜也
E-mail　ape_eip_ape@hotmail.com

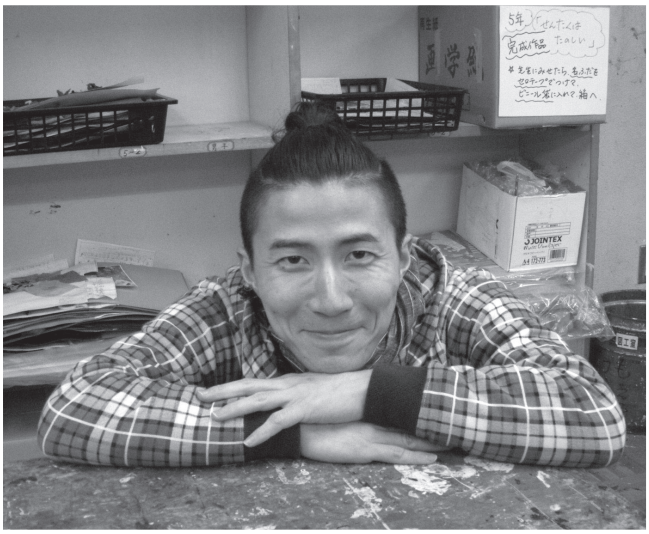

Photo:NPO法人 芸術家と子どもたち

活動歴・受賞歴

○活動歴

〈2002年〉APE結成
〈2006年〉APE『One day, I woke up …』『Check in/out?』(サンチアゴ(チリ)・ニューヨーク・釜山)世田谷美術館開館記念事業APE『APErilfool?'エイプリルフールな美術館'』ソロ『ME, MYSELF AND I』(ソウル東京・リムリッグ(アイルランド)・多治見・広島)
〈2007年〉東京シティ・バレエ団　振付作品『かじったかじつかじる』APE『様』-C-
〈2008年〉APE『み』
〈2010年〉財団法人地域創造　公共ホール現代ダンス活性化事業調布市せんがわ劇場／日田市パトリア日田
〈2012年〉財団法人地域創造　公共ホール現代ダンス活性化支援事業えずこホール／日田市ダンスプログラムVol.3『千年あかりWandering』／オペラシアターこんにゃく座　オペラ『森は生きている』振付
〈2013年〉文学座アトリエの会「未来を忘れる」ステージング
〈2014年〉劇団昴　ザ・サード・ステージ「BLUE」振付／劇団かかし座「Hand Shadows ANIMARE+Plus」ステージング
〈2015年〉劇団かかし座「Wonder Shadow」振付
〈2015～16年〉ACC　公益財団法人荒川区芸術文化振興財団『おしいれのぼうけん』『ジャングル大帝』　振付監修
〈2016年～〉テレーザ・ルドヴィコ演出　『ピノッキオ』振付アドバイザー

ワークショップ歴

〈2006年〉XII Festival Internacional Teatro a Mil（サンチアゴ）Busan International Beach Dance Festival（釜山）／世田谷美術館　中学・高校生
〈2006年～〉世田谷パブリックシアター　小学生・一般
〈2007年〉国立新美術館　小学生 ／ 2009年横浜開港150周年記念事業　青少年
〈2007年～〉NPO法人芸術家と子どもたち　小学校・特別支援学級・幼稚園・保育園
〈2008年～〉横浜市芸術文化教育プログラム推進事業　小学校
〈2008年～〉法政大学キャリアデザイン学部非常勤講師
〈2009年～〉東京文化発信プロジェクト　パフォーマンスキッズ・トーキョー
〈2010年～〉NPO法人子ども劇場東京都協議会　思春期世代コミュニケーションワークショップ
〈2011年～〉文化庁　次代を担う子どもの文化芸術体験事業／文部科学省児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業
〈2012～13年〉テレビ朝日福祉文化事業団主催　児童養護施設中高生対象WSおよび舞台発表
〈2012～16年〉女子美術大学芸術学部非常勤講師
〈2013年～〉玉川大学芸術学部非常勤講師
〈2014年～〉国立音楽大学音楽学部非常勤講師
〈2017年～〉東京家政大学短期大学部非常勤講師
〈2017～18年〉文化庁　戦略的芸術文化創造推進事業　「体験ワンダーランド」
〈2019年〉公益財団法人東京都歴史文化財団連携事業　学校と文化施設をつなぐ「ティーチャーズプログラム2019」

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

身体をめいっぱい使って動いたり他者と触れ合ったりすることで、知らないうちに打ち解けていきながら、自分自身の表現や相手とのコミュニケーションを発見・体験してもらいます。

❶『からだで表現あそび』(保育園・幼稚園)
▶対象年齢：3歳くらいから
▶参加適正人数：30名程度まで

❷『ダンス・コミュニケーション』
☆小・中・高等学校・特別支援学校
▶参加適正人数：1クラス（30名程度）が理想ですが、2、3クラス合同も対応いたします。
☆教員や教員を目指す大学生向け
▶参加適正人数：30名程度まで
☆福祉施設
▶参加適正人数：30名程度まで

公募ワークショップ

❶『からだで表現あそび』
☆子どもワークショップ
▶対象年齢：５歳くらいから小学生
▶参加適正人数：30名程度まで
☆親子ワークショップ
▶対象年齢：親子（２歳から大人）
▶参加適正人数：12組程度まで

❷『ダンス・コミュニケーション』
☆一般ワークショップ
▶対象年齢：中学生以上
▶参加適正人数：30名程度まで

◎実施条件（共通）
▶アシスタントの有無:1名 ▶1日の実施可能回数・時間：2コマ ※1コマ90分 ▶必要機材等：iPod等を接続できる音響プレーヤー、ワイヤレスマイクやピンマイク ▶場所：体育館が理想ですが、相談しながら決定いたします。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

❶『み』
次世代を生きる子どもたちへ
「サバンナに生きる動物たちのように、必死にぶっ倒れるまで、命を、人生を全うして生きてほしい」
▶上演時間：約25分 ▶出演者数：楠原＋2名

❷『One day, I woke up…』
朝起きて出勤し、帰宅。就寝。毎日の中で誰もが経験したことのあるシーンを集め、風刺を混ぜながら創作したコラージュ作品
▶上演時間：約20分 ▶出演者：楠原＋5～7名

市民参加作品

『○○　**Wandering**』　※○○には劇場や地域の名称等をヒントにみなさんと考案します。
劇場のホール以外も使用し、観客が地図と自分の勘を頼りに館内外を自由に巡って鑑賞する体験型パフォーマンス。いつどこでだれにどのように出くわすかはあなた次第・・・さまよっているのはいったいどっちなのか？さあ、心のおもむくままにさまよってください・・・
▶上演時間：25～40分 ▶出演者数：楠原＋2名
▶クリエーション・出演参加者数：10～20名

◎実施条件（共通）
▶同行スタッフ・現地スタッフ：舞台監督1名、照明1名、音響1名、仕込み要員2名　※1名は同行いたしますが、基本的には現地スタッフとの共同作業を希望いたします。
▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：6m×6m以上、市民参加作品は劇場特有のスペースを利用 ※場所の条件により柔軟に対応可能　(2) 床：リノリウム、市民参加作品は規定なし　(3) 必要機材、舞台セット：通常の音響と照明設備程度